

第 17 回「日本語体験コンテスト in 成都」 実施報告書



＜後列左より＞新妻審査委員、吳実行副委員長、菊川実行委員長、宇田川様（在重慶日本国総領事館）、大槻様（全日本空輸株式会社 成都支店）佐井審査委員長
＜前列左より＞入賞者 5 名：易涛、崔宇航、袁嘉月、陳姊汐、万幸子

- | | |
|----------|---|
| 【開催日】 | 2019 年 9 月 21 日（土）予選会 13：00～、本選会 14：30～ |
| 【会場】 | 中華人民共和国 ソフィテルワンダ成都 |
| 【主催】 | 一般財団法人 共立国際交流奨学財団 |
| 【現地運営団体】 | 成都大原日本語学校 |
| 【後援】 | 文部科学省 在重慶日本国総領事館 全日本空輸株式会社 成都支店 |
| 【協賛】 | 株式会社 共立メンテナンス |

<総評>

2003 年度より始まり、今年で 17 回目を迎えた「日本語体験コンテスト」は 9 月 21 日(土)、中国・成都市ソフィテルワンダ成都にて開催致しました。

コンテスト参加申込者は 88 名、当日の参加者は 60 名でした。

予選会では、日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などの幅広い分野から、聞き取り問題 30 問が出題され、予選会を通過した 20 名が、本選会の 3 分間即興スピーチに進みました。

今年のスピーチ課題は、

①日本では翻訳機が売られています。もしあなたが翻訳機を手に入れたら、日本語を勉強しないで翻訳機を使いますか？それとも使わないで日本語を勉強しますか？その理由を話してください。

②日本政府は「日本人は働きすぎる」という問題から、働き方を変えようとしています。働きやすくするためにはどんな方法があると思いますか？その方法を教えてください。

③日本語を習得するのは難しいと思いますか？それとも簡単だと思いますか？その理由を話してください。この 3 つのテーマから 1 つを選択し、5 分間のシンキングタイムの後、3 分間の即興スピーチをしていただきました。

本選会出場者は①のテーマを 7 名、②のテーマを 4 名、③のテーマを 9 名の方が選択し、日本語を勉強するきっかけとなったアニメや漫画への想いを、個性豊かにスピーチしていました。

そして審査委員 3 名による審査の結果、5 名が入賞し、実行委員長より賞状と賞品目録が授与されました。

入賞賞品として、2020 年 2 月 4 日(火)～2 月 10 日(月)(6 泊 7 日)の日程で、日本体験旅行に参加していただきます。

この日本体験旅行を通じて、日本の良さを身をもって感じていただき、1 人でも多くの方に日本への留学を志していただければと思っております。そして、この経験を通じて、将来日本と中国両国の発展に大きく貢献する人材となることを願っております。

<実施報告>

◆ 予選会

	時 間	内 容
予選会	13:00～ 13:05～	開会の辞・注意事項説明 予選会(日本の政治、経済、文化、文学、歴史、地理、社会、 流行などについての聞き取り問題 30 問)



受付の様子



予選会の様子

予選会成績上位者 20 名が本選会へと進みました！

◆ 本選会

	時 間	内 容
本選会	14:30～ 14:40～ 14:50～14:55 14:55～	予選会通過者発表(20 名) 開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明 シンキングタイム スピーチ(審査員による質疑応答あり)



本選会の様子

◆ 表彰式

表彰式	16:30～	「夢・日本体験賞」入賞者発表(5名)
-----	--------	--------------------

＜式次第＞

- 一、開会の辞
- 一、実行委員長挨拶
- 一、実行副委員長挨拶
- 一、来賓挨拶
- 一、審査委員長講評
- 一、入賞者発表
- 一、奨励賞授与
- 一、閉会の辞

＜実行委員長挨拶＞



菊川実行委員長

＜実行副委員長挨拶＞



呉 雪実行副委員長
(大原日本語学校 校長)

＜来賓挨拶＞



領事 宇田川様
(在重慶日本国総領事館)

＜来賓挨拶＞



大槻様
(ANA 成都支店 空港所長)

＜審査委員講評＞



新妻審査委員

＜賞状授与＞



菊川実行委員長より
入賞者 5 名へ賞状・目録の授与されました

＜奨励賞授与＞



惜しくも入賞を逃した本選会出場者 15 名には、
呉実行副委員長より奨励賞が授与されました。

【入賞賞品】『夢・日本体験旅行』

入賞者 5 名には 6 泊 7 日の日本体験旅行を贈呈しました



氏名	在籍校
イ トウ 易 涛	四川大学
チン シセキ 陳 姊汐	電子科技大学
サイ ウ コウ 崔 宇航	成都理工大学
マン コウシ 万 幸子	成都大原日本語学校
エン カ ゲツ 哀 嘉月	四川外国語大学 成都学院

審査委員長 講評



審査委員長 佐井 浩然

(学)共立育英会 共立日本語学院 理事

2019 年 9 月 21 日(土)、第 17 回「日本語体験コンテスト in 成都」が開催されました。今回は去年に続き、成都での 2 回目の開催となります。今年も 88 名の日本語を勉強している高校生、大学生及び社会人が参加しました。

予選会では、日本語と日本社会・経済・文化風習に関する問題を 30 問課し、参加者の高得点者上位 20 名(17 点以上)の優秀な成績で、一次予選を通過して本選会に出場となりました。

本選会では、与えられた 3 つのテーマの中から自分で一つを選んで、5 分間で自らの考えをまとめ、3 分間の即興スピーチを発表してもらいました。どの発表者のスピーチも練習の頑張りが手に取るように分かり、甲乙つけがたいものでしたが、最終的に 5 名の学生が入賞しました。

入賞者の 5 名のスピーチの共通点は、課題を正確に把握し、聴衆がわかりやすいようにスピーチを聞かせてくれました。「決められた時間内で他人に自分の考えを伝える」という目標を達成するには、順序よくわかりやすく話すことということが大きなポイントになります。「日本語体験コンテスト」は、日頃の日本語学習の成果を発表できるいい機会でもありますし、たくさんの聴衆の前で話すというなかなか体験することのできないいい経験にもなります。来年もたくさんの方の参加を期待しております。

残念ながら今回は落選した参加者には、入賞者の良いと思ったところを参考にして、次回のスピーチコンテストにも参加してほしいと思います。